

館所長国際キリスト教会議に出席

1964年2月20～25日、バンコクから15マイル東南海岸ハクナムの Swanganivas (赤十字会館) において、国連協力非政府機関B類に登録されている Commission of the Churches on International Affairs, The World Council of Churches (プロテスタント) の地域組織, East Asia Christian Conference が開催せられ、館所長は、国立公衆衛生院の村松 稔博士とともにスピーカーとして招かれて出席した。会議の概況は次のとおりである。

「東アジアキリスト教教会会議」の概況

この会議には、E C A F E 地域13か国から National Christian Council の代表約70名が参加した。日本の N C C からは山田忠蔵総幹事、大村 勇日本キリスト教団総会議長、原田正枝夫人および鈴木和子夫人が代表として出席された。アジアでただ一つのカトリック文化の国、フィリピンの N C C が8名という多くの代表を送ったこと、セイロンの Mrs. S. Fernando, マレーシアの Mrs. Goh Kok Kee をはじめ地域の国際家族連盟 I P P F の指導的地位にある人々が多数に参加したこと、I P P F が Mrs. Butcher を observer として出席させたこと等が注目をひいた。

今回の会議は、Mrs. Fernando を議長とし、フィリピンの Dr. J. S. Quiambo が secretary と speaker とをつとめた。Consultant および speaker として Commission of the Churches on International Affairs の常任理事 Dr. Richard M. Fagley とカナダの Bishop H. G. Werner が出席した。Speaker としては、館とインドネシアの Prof. T. G. Tieng, 村松 稔博士およびセイロンで家族計画の实地指導と研究を行なっているスウェーデンの Dr. A. Kinch が参加した。なお、E C A F E 駐在の国連地域人口 adviser, Dr. Carle Friesen が special speaker として参加した。会議の convener は E A C C の理事長ビルマの U. Kyaw Than であった。

1958年以来、この Commission は “Responsible Parenthood” を課題として取り上げてきたが、これまでの討議がおもに神学的領域であることに対して、今回は、“The Churches in Asia and Responsible Parenthood” を課題とし、いよいよ実践面が討議の中心課題として取り上げられた。議題はさらに(1) Responsible Parenthood の人口および国の発展との関係、(2) Responsible Parenthood の意義、および(3) Responsible Parenthood の運動の推進強化の戦略の三つに分けられ、総会においてそれぞれの課題についての speaker の発題講演があり、三つの working group に分かれて、討議と報告書の原案を作成し、総会に提出してさらに討議が行なわれた。館は第1議題を担当し、村松博士は第3議題を担当された。

アジアの大部分の国はキリスト教国ではない。アジアの人口のわずかに3%がキリスト教徒であるといわれている。しかし、この Commission の方針に従って、その地域組織としての E A C C が、この運動をいよいよ実際に展開しようとしてきたことは、一つのキリスト教的教理に立脚するモデルの運動として非常に重要な意味をもつものと考えられる。

なお、この機会を利用して、エカフェ総会直前の E C A F E 事務局において、Dr. C. Friesen, 社会部長 Miss D. Moses, Mr. Richard Paw-u, Mr. Aromin らと会いアジア人口会議の反省を中心とする話をし、さらに去る1月発足した Chulalongkorn 大学の構内の The Asian Institute for Economic Development and Planning を視察し、所長 Dr. P. S. N. Prasad をはじめ、教官と研修生の多くに会って話す機会を得たことは幸いであった。

なおまた、家族計画普及政策の pilot project を行なっているタイ国保健省の所管局長および担当課長に面会し討議する機会を得たことならびに最近機構改革を行なったタイ国統計局の統計監 Mr. Jin Jaiprabha と会い視察するとともに人口統計について話し合う機会を得たことは幸いであった。

(概況：館 稔記)